

ご予約方法・スケジュール

① コースの選択

ご希望の健診内容についてご相談下さい。
受診時間・人数・オプション検査の有無。

② ご予約（健診当日から1～2ヶ月前）

お電話・メール・窓口にて承ります。



健診可能日程案の送付

受診可能日時を記載したリストを
メール・FAXでお伝えします。



上記リストの返却

必要事項（受診者のお名前、生年月日、
性別等）をご記入していただき、受診開始
1ヶ月前までにメール・FAX等でご連絡下さい。

③ 予約表、事前案内、問診票等を送付

予約内容をご確認下さい。
問診票はご記入いただき検査当日持参して
下さい。検査容器は事前にお渡しします。

④ 健診当日

受付窓口問診票、検査容器（必要な方のみ）
を提出して下さい。

⑤ 検査後約3週間後

受診結果を一覧にまとめた検査結果表をお送
りいたします。受診者様分とは別に、事業所
様控え分も発行いたします。

アクセス



[お車でお越しの場合]

 駐車場 8 台完備

[公共交通機関でお越しの場合]

 JR 埼京線 武蔵浦和駅下車



武蔵浦和駅より徒歩 5 分

お問い合わせ

デュエット内科クリニック
〒336-0021 さいたま市南区別所6-18-8

 048-866-7350

fax:048-866-7767

電話受付時間

月曜～金曜 午前9時～午後5時

土曜 午前9時～午後12時30分

日曜・祝日・土曜午後は休診

 医療法人明医研
WARM & RELIABLE
デュエット内科クリニック

企業健診のご案内
(団体健診・雇入れ時健診)



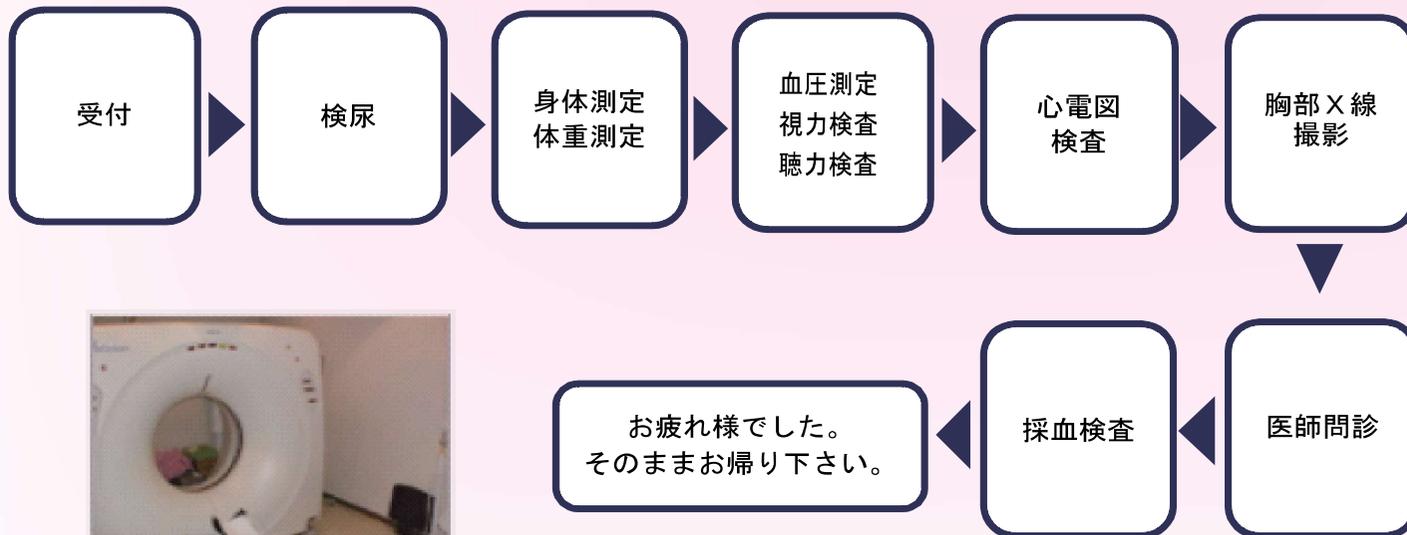
企業健康診断（団体健診、雇入れ時健診）のご案内

近年、企業における健康管理の重要性が唱えられてきています。従業員のみなさまの健康状態を把握し、健康維持のための適切な指導をおこなうことは企業の利益につながります。当院では厚生労働大臣が定める労働安全衛生規則の規定に基づいて健診項目を設定しています。また、オプション検査もご用意しています。

企業健診検査項目				
項目	簡易法定健診	一般法定健診	雇入れ時健診	さいたま市 特定健診網羅
問診	●	●	●	●
身長・体重・腹囲・BMI	●	●	●	●
視力	●	●	●	●
血圧	●	●	●	●
貧血（白血球数・赤血球数・血色素量・ヘマトクリット量・血小板数）		●	●	●
血中脂質（中性脂肪・HDL/LDLコレステロール）		●	●	●
肝機能（GOT・GPT・r-GTP）		●	●	●
腎機能（クレアチニン・尿酸）			●	●
血糖（HbA1c・血糖）		●	●	●
尿検査（糖・蛋白）	●	●	●	●
胸部レントゲン（直接撮影）	●	●	●	●
心電図		●	●	●
聴力	●	●	●	●

オプション検査
眼底
CT（頭部・胸部・上腹部）
超音波（腹部・頸動脈）
肺機能検査
胃バリウム検査
便潜血
骨密度測定
動脈硬化度測定
抗ヘリコバクターピロリIgG抗体検査
男性腫瘍マーカーセット
女性腫瘍マーカーセット

※費用については、お問い合わせ下さい（受診者数によって費用が異なります）。



明医研の理念



理事長ご挨拶

私たちは、平成7年の創設以来、在宅医療（訪問診療・往診・訪問看護）の実績を持っています。一方、外来や検査部門がしっかりしてこそ初めて、地域のかたがたが安心できる医療を提供できることを知っています。それには、経験豊かな医師団はもちろん、看護・検査・介護・事務部門など職員全員の協力が大切です。明医研の医療に触れるみなさまに、医療に傾ける私たちの情熱を感じていただけるよう、職員一同努めています。

医療法人 明医研
理事長 中根晴幸
Haruyuki Nakane



プロフィール

日本内科学会認定医
埼玉医科大学非常勤講師
（社会医学・医療センター）
認知症ケア指導管理士
日本プライマリケア連合学会埼玉支部代表世話人



医療法人明医研 デュエット内科クリニック
内科／神経内科／消化器内科

大和 康彦 院長

Yasuhiko Yamato

杏林大学卒業後、佐久総合病院総合診療科、自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科勤務を経て、2009年より「デュエット内科クリニック」へ。2016年7月院長に就任し、外来と在宅医療の両方を担当。患者の立場に立った「怒らない診療」がモットー。日本内科学会総合内科専門医。



1 院内はバリアフリーになっており、高齢の患者でも安心 2 診療室は個室で患者のプライバシーにも配慮

人となりまでも診る総合診療と在宅医療
怒らない診療で地域の健康を守るクリニック

武蔵浦和駅から徒歩5分の『デュエット内科クリニック』。外来と在宅医療の両方を重視し、風邪や胃炎の診療から家族の介護や健康の悩みまで幅広く対応しているのが特徴だ。

院長の大和康彦先生は、総合診療の豊富な経験を持ち、在宅医療についても深く勉強してきた在宅医療の専門家。介護施設などとも密に連携しつつ、長期的な目線で患者とその家族に寄り添う診療を実践している。患者本人の病氣ばかりでなく、家族の健康や介護の相談で来院する人も多いそうだ。

総合診療とは、大和院長によると「患者さんが訴える症状を多角的に診て、原因を探り、診断していく」もの。実際の臨床においては、患者の症状だけでなく、生活習慣や環境なども考慮して丁寧に診断していく。「病ではなく人を診る」という考えの



3 エックス線撮影装置などの検査機器も完備

下、患者さんの話を通じて症状の原因を突き止め、治療するのが総合診療という考え方です。特定の症状だけを診るよりも、病因を早く探り当てられることもあるんです」

外来でも在宅医療でも、大和院長が心がけているのは「怒らない」と。例えば食事制限中の患者が食べ過ぎてしまっても、頭ごなしに叱るのではなく、「その分多めに歩きませんか?」と、やんわり提案するのが大和院長のスタイルだ。

「患者さん自身が自主的に症状を改善していけるようにサポートするのが医師の務めだと思っています。そして何より生活を楽しんでいただきたいですからね」



病院レベルの治療を在宅医療で
困り事があれば気軽に相談を

大和院長自ら毎日訪問診療に出向くなど、外来と在宅医療の両方で患者に包括的かつ継続的なケアを精力的に行う同院。「風邪で来院された方から介護の悩みを聞いたのがきっかけで、在宅医療が始まることもあります。病気でも介護の相談事でも、困ったことがあれば気軽に受診してください」。在宅医療の利用者は、高齢者や緩和ケアを必要とするがん患者、通院が困難な患者が中心。点滴や気管カニューレ、人工呼吸器など、対応できる治療は多いという。

Data



Tel 048-866-7350
Add さいたま市南区別所6-18-8
Parking 有(8台)
Close 日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	○	—	—
14:30~18:00	●	●	●	●	●	—	—	—

※9:00~13:00
※受付は午前8:30~11:30(土曜は8:30~12:30)、午後14:00~17:00



Map P000 X-0

Link P000

生涯医療をトータルサポート 総合診療

総合診療とは

診療科の垣根を超え多角的に病気の診断・治療を行う診療。幅広い年代の健康問題に対応し、診察だけでなく、予防医療や保健活動、介護・福祉分野との連携も広い地域の健康・福祉問題とも関わりが深いです。

どんな症状も相談できる「かかりつけ医」 診療科の垣根を超えて生涯を支える

総合診療ではどのように診療をしていますか？

健康の悩みなどを伺いながら、まずは問診・診察の中から解決の手がかりを探していきま。必要なら検査を行い、時には専門の医師を紹介する。コデーネーターの役割も。調子の悪いときや病気のときに相談に乗ってもらえる身近な存在として、「昔ながらのかかりつけ医」がイメージに近いかもしれません。在宅医療やターミナルケアとも深い関わりがあり、患者さんと地域を結ぶ医療の架け橋の役割も担っています。

総合診療を行う医師がいるクリニックを受診するメリットは？

病状やライフステージに合わせて医師を変える必要がなく、同じ医院に通い続けられることです。患者さんの生涯をトータルサポートする医療こそが総合診療の役割。子どもから高齢者まで、多様な世代の健康問題に対応が可能です。また、総合診

療を行う医師は他の診療科や職種との連携も得意。高度な検査・治療が必要な場合は適切な専門家をご紹介しますし、患者さんの在宅療養を支える上で多職種との連携も図ります。

受診する際の注意点はありますか？

「いつから」「どういう症状が起きているか」をしつかり伝えることが大事です。その上で、受診のきっかけや思いもお話しいただくといいと思います。それにより、受診の目的に沿った診療が行えるからです。総合診療は名称のとおり、診療科の垣根を超えて、さまざまな着眼点から総合的に診療を行う、「あなたの健康のパートナー」です。些細なことでもお話しただければ、不安解消の糸口になるかもしれません。

在宅医療における総合診療の役割とは？

在宅医療は通院困難な高齢者だけでなく、手厚い医療を必要

とする難病や終末期の方なども対象となります。在宅医療を担当する医師は、ケアマネジャー・訪問看護師・ヘルパー・薬剤師・理学療法士などの多職種と手を携え、患者さん・ご家族をサポートします。病気だけでなく、患者さんの生い立ち、人生観、生活や家族背景を大事にしなが日々診療を行っていますので、在宅医療を総合診療が担う意味は大きいと思います。



医療法人 明医研

ハーモニークリニック

市川 聡子 副理事長

東京女子医科大学卒業後、国立病院東京医療センター（現・国立病院機構東京医療センター）勤務を経て、「ハーモニークリニック」へ入職。外来・在宅医療だけでなく、学校医活動や健診活動など、地域の健康問題にも取り組んでいる。プライマリ・ケアの学会などにも足を運び、日々研鑽を重ねる。

LINK P000、000

「医療法人 明医研 ハーモニークリニック」で受けられる診療

在宅と外来だからできる
生活に一步踏み込んだ医療
患者と家族の健康を守る

外来診療と在宅医療、どちらも大切にする同院。その理由の一つは、在宅医療を受けている患者と外来に来院する家族の双方から生活状況を聞くことができ、よりその人に合った治療の手がかりがつかめるからだという。また、介護をしている家族は、自分の体調を後回しにしがちという現状がある。本人も無自覚のまま無理をしていたり、いつの間にか体調不良になっていたりするケースも少なくない。同院、そして姉妹院のデュエット内科クリニックでは仕事や介護に追われる患者の家族も自分の体に関心を持ち、医師に相談しやすい環境を整えている。「ご家族の健康が、介護を必要とする方の健康でもあるのです」と市川聡子先生。



在宅医療と外来診療のどちらの診療も大切にしている